

若校

宗祇

浪漫と憂愁

日本の旅人5 井本農一



井本農一（いもと・のういち）

大正二年生れ。本籍山口県新南陽市。生地千葉県成田市。昭和十一年東京帝国大学文学部国文学科卒業。旧制山口高等学校教授・東京女子高等師範学校教授等を経て、現在お茶の水女子大学教授。専攻、中世国文学・近世国文学・俳句評論。

著書・編書『俳文芸の論』『宗祇論』『詩人良寛』

『芭蕉——その人生と芸術』『奥の細道をたどる』

『古典俳文学大系 芭蕉集（全三）』『日本古典文学

全集 松尾芭蕉集』

現住所 東京都中野区上鷲宮一―一六―二〇

日本の旅人⑤ 宗祇

昭和四十九年二月二十日 第一刷発行

定価 九百五十円

著者 井本農一

発行者 納屋嘉治

発行所 株式会社淡交社

京都市北区堀川鞍馬口上ル

東京都千代田区鶴町四―四

振替京部四五七八

印刷 大日本印刷 製本 大日本製本

©一九七〇 井本農一

(分類) 0023 (製品) 487305 (出版社) 4363

日本の旅人

5

淡交社刊

宗祇

浪曼と憂愁

井本農二

序章

51

一 宗祇花の本宗匠となる

52

二 宗祇の出自と青年時代

53

三 連歌修行

56

四 『新撰菟玖波集』の編集

60

五 宗祇の人となりと文学的指向

75

東国への旅

83

一 当時の時代相

84

二 宗祇東国へくだる

86

三 関東の心敬と宗祇

91

『白河紀行』の旅

97

一 東常縁と宗祇

98

二 旅立ち

99

三 筑波山から日光へ 100

四 日光三所権現——宗長の『東路のつと』から 102

五 塩谷と『廻国雑記』の旅 106

六 塩谷から那珂川まで 107

七 那珂川から横岡まで 111

八 横岡から白河の関へ 113

九 白河の関 115

その後の宗祇の旅と動静

一 江戸で『吾妻問答』を書く 123

二 古今伝授を受ける 128

三 戦乱の中に風雅に生きる 132

四 越後への旅 137

山口への旅

一 山口へくだる 140

二 山口滞在 144

『筑紫道記』の旅

151

一 山口から舟木まで

152

二 舟木から豊浦まで

156

三 豊浦から赤間が関まで

162

四 下関海峡を越えて長尾まで

166

五 長尾から太宰府まで

171

六 太宰府から博多へ

175

七 博多・志賀の島・生の松原

178

八 博多から赤間が関まで

184

九 赤間が関から山口へ戻る

189

その後の旅と終焉

193

終章

197

あとがき

201

付録 白河紀行・筑紫道記・関係地図

203

写真 名鏡勝朗

カバー 日本図屏風 南波松太郎氏蔵（小西晴美撮影）

装本 田中一光

上・宗祇画像 元文年間 周南山形賛 山口県文書館蔵

下・宗祇像部分 旧藪本荘五郎氏蔵





相国寺の法堂 「昔、都相国寺にして……」



北野天満宮の三光門 長享2年、
宗祇は北野会所奉行に任せられる



北野天満宮の連歌井戸（連歌
堂が、この井戸の西にあった）



筑波山西峰の山頂 「筑波山の見
まほしかりし望みをも遂げ……」

